

横浜市立 横浜市立 相武山小学校 令和 2 年度版 中期学校経営方針 (令和 元 ~ 3 年度)

学校 教育 目標	教育理念「まちのみんな ひとつになあれ」 教育目標「互いに見つめ、気づき、やりとげる 相武山の光の子」				
	【知】 基礎・基本を身につけ、課題を追求し、解決できる子を育てます 【徳】 自分のよさや友達のよさに気づき、人を思いやる子を育てます 【体】 心と体をきたえ、心身ともにたくましく生きる子を育てます 【公】 人や自然、まちとのかかわりを大切にすることを育てます 【開】 学びを生かして自分の夢を育て、進んで取り組む子を育てます				
学校 概要	創立 45 周年	学校長 堀野由里	副校長 恒吉信一	2 学期制	一般学級: 17 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 549 人		主な関係校: 東永谷中学校 下永谷小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<コミュニケーションを大切にしたい問題 解決能力>◇よりよい社会の実現を目 指す態度 ◇協働的に解決策を見い だし実行する能力 ◇伝え合うことで 集団の考えを発展させる力	東永谷中学校 相武山小学校 下永谷小学校	コミュニケーションを大切にし、協働して問題解決を行なう子ども ・進んであいさつする子、時間を守る子、人の話を聞く子を育てることを基本とする。 ・区人権推進校としてブロック合同で研修を行ったり授業公開を行なったりする。 ・児童生徒一人一人が安心して話し合える授業をめざし授業改善を行う。 ・行事や小中交流など児童生徒や職員の交流を通して相互理解を深める。

中期 取組 目標	○教育理念・学校教育目標の実現に向けて、人権尊重の精神を基盤とした、子どもたちが安心して心豊かに過ごせる学校づくりをします ・どの子どもも参加できていると感じることのできる「自分ごととして課題を把握する」「すすんで自力解決する」「友達と協働して学びを深める」授業づくりをします。 ・どの子どもにとっても安心して通える、自分が大切にされていると感じる学びの環境づくりを行います。 ・家庭や地域、関係機関、幼保中高と連携し、社会の信頼に応える、まちの中で子どもを育てを進めます。 ・全職員が主体的に参加し、互いに学び続ける学校運営・組織づくりを行います。
-------------------------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 学習指導部	①課題の明確化を図り、自らの学習を生かして次の学習に向かうことができるように振り返りを大切にした授業づくりを行い、問題解決する力を育てる。②協働して問題解決できるように、意見を安心して聞き合ったり話し合ったりする力を育てる。
豊かな心 担当 人権児童指導部	①人権意識をベースにした学級経営を行う。安心集会やなかよし活動で他学級や異年齢が関わる機会をもつ。 ②「さぶやまスタンダード」を充実させ児童指導上の課題の予防や開発に努める。
健やかな体 担当 健康教育部	①様々な機会を通して自分の体について知り、自分で健康管理できるように家庭と連携しながら生活習慣を整える。 ②体を動かして遊ぶことを推奨し、体育や集会などを通して運動に慣れ親しみ体力の向上を図る。
重点研究 担当 重点研究推進部	①学習課題を自分ごととしてとらえ、協働して話し合いながら展開する授業づくりを行う。 ②自らの学習を振り返り、次の学びに生かしていく学びに向かう力を育てる。 ③育てたい力を明確にし学びの姿をとらえ、指導と評価の一体化を図る
ユニバーサルな 環境づくり 担当 人権児童指導部	①研修や児童理解の時間を活用し職員全体で子どもの様子を理解し、寄り添った指導を目指す。 ②個別支援計画・個別指導計画を必要な児童について作成し、職員や家庭が連携して指導、支援を行う。
学校運営協議会 担当 教務部	①学校地域コーディネーターを中心とした「さぶやまボラネット」に学校の安全や学習、環境整備などの支援をお願いし、子どもの安全や教育活動の充実を図る。②地域と一体となって子どもを育てるために、目標や理念の共有のために、運営協議会の活動を積極的に発信する。
安全教育 担当 防災防犯部	①登校班会議を通して、登下校の安全を自分ごととしてとらえ、安全意識を高める。下校についてはより安全を自分ごととしてとらえるように意識を高める。②様々な場面を想定して計画的に避難訓練を実施し「自分の安全は自分で守る」という意識を育てる。総合防災訓練は幼保と連携し地域の防災意識を高める。 b8
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①人権意識をベースとした児童理解や学年・学級経営を行い、情報を共有して組織的に対応する。 ②学校・家庭・地域が共同して取り組む。いじめ防止の指導や取組、人間関係づくりや教育相談の研修を行い、職員の意や指導力の向上を図る。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 教務部	①メンターチームを組織し、市のリーダー研やマネジメント研の教員がリーダーとなり、ニーズに応じた研修を年間を通して行う。 ②グループウェアや電子システムなどを活用し効率化・簡便化を図る。 ③会議の仕方を工夫し時間短縮と効率化を図る。